ゆとり世代の叱り方・教え方Q&A（第3回）

「仕事をやり切らず定時で帰宅」どうすればいい？

2016.06.16

ゆとり世代の叱り方・教え方を具体的なケースで学ぶ連載の第3回。仕事が終わっていないのに定時で帰ろうした場合の対処法です。

Q 仕事が終わらず、処理すべきことが残っているにもかかわらず「定時なので帰ります」と言ってきます。目が点になってしまいました。

A うまくいかなかったことを「やり切る」ことが責任感だと教えましょう。

【対処法のポイント】
ゆとり世代は、自分の仕事がうまくいっていないという事実と、プライベートな時間の優先順位をきちんと付けることができません。

自分の仕事がきちんと終わっているのなら、定時に帰ることに何の問題もありません。上司から見れば「お前が仕事をきちんとできていないから、定時に帰れないんじゃないのか？」というときがあります。そのときに、普通なら「自分がうまくできていないこと」に対して、自分で尻拭いをするのが社会人です。しかし、ゆとり世代はそうは考えません。



ゆとり世代にとっては「うまくいかなかったことをリカバリーはするが、時間が来たら帰る」のが常識なのです。仮に、自分の仕事の遅れによって同僚や上司を待たせていても「それはそれ。これはこれ」とある意味クールに判断します。仕事とプライベートの優先順位がイコールになっていて「終わるまでリカバリーする」「できるまで自分で尻拭いをする」という感覚はあまりありません。

仕事とプライベートの優先順位が、どんなときでも同じ… 続きを読む